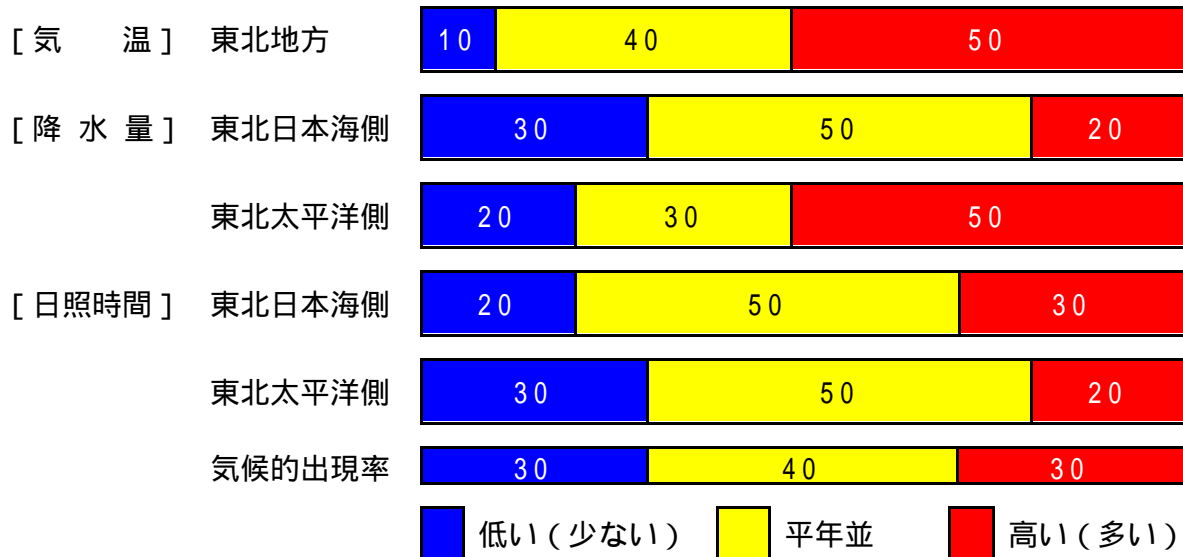


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：8 月 12 日～9 月 11 日）

平成 12 年 8 月 11 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「高い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 40％です。「低い」の可能性は 10％と小さい。

[降 水 量]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。東北太平洋側は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 30％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。東北太平洋側は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

この期間、はじめ台風の影響で天気がぐずつきますが、高気圧に覆われて平年同様晴れの日が多い見込みです。期間の後半には、低気圧や前線の影響を受ける時期があるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 17 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目……………

13 日から期間の中頃にかけて、台風第 9 号の影響で天気のくずれ
(8 月 12 日～8 月 18 日) るれる所があるでしょう。その他の日は高気圧に覆われておおむね晴
れる見込みです。

なお、台風第 9 号が日本の南海上にあって北上しています。今後の
台風の動きに留意してください。

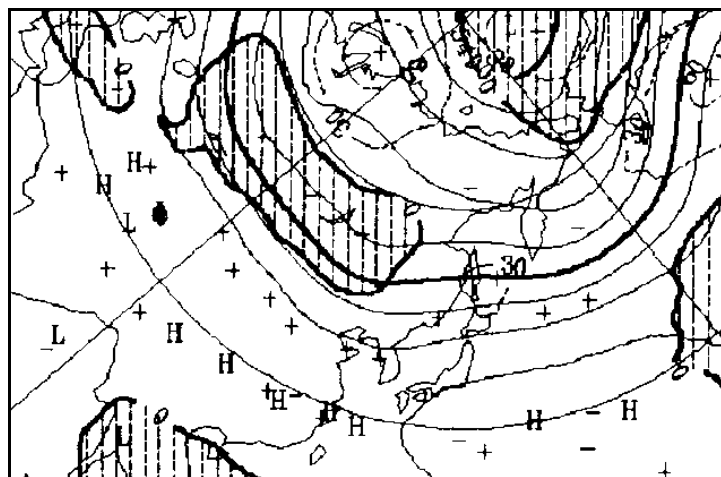
平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

2 週目…………… 高気圧に覆われ晴れる日もありますが、上空の寒気の影響で天気のがずつく時期があるでしょう。
(8 月 19 日～8 月 25 日) 平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

3～4 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。
(8 月 26 日～9 月 8 日) 平均気温は高い見込みです。
平年の晴れ日数は東北地方で約 7 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

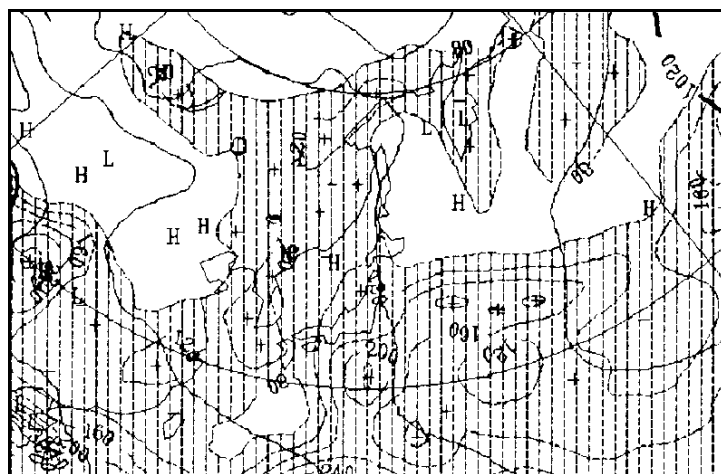


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は正偏差に覆われる。夏型の安定した晴天をもたらす亜熱帯高気圧は本州南岸まで張り出すが、中国東北區は気圧の谷となっており、北日本は上空の寒気や低気圧の影響を受ける見込み。

週別（図略）を見ると、日本付近は 1 週目負偏差となるが、2 週目以降は正偏差に覆われる。また、亜熱帯高気圧は 2 週目に一時強まって東北南部まで張り出すが、3～4 週目は月平均と同程度となる。また、3～4 週目は等高度線の混んだ部分が北日本まで南下する見込みで、低気圧や前線の影響を受けやすく、天気は周期変化となる。



月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

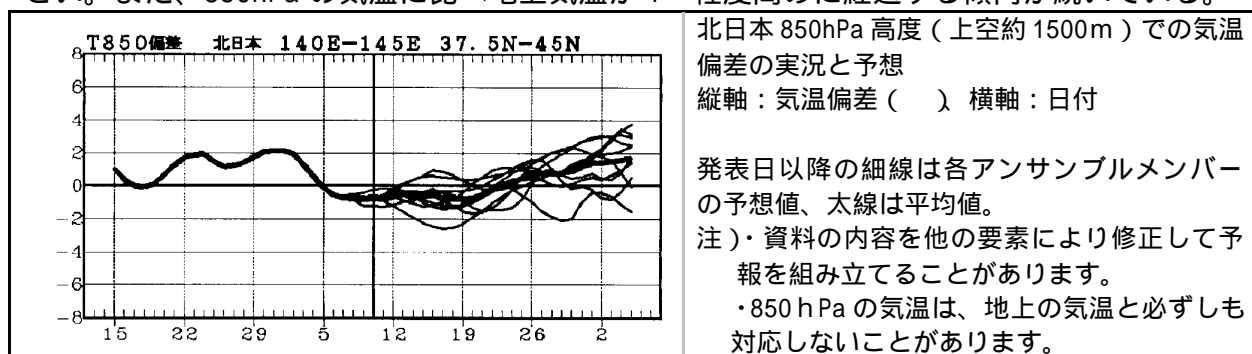
・地上気圧と降水量

月平均で見ると、太平洋高気圧は日本のはるか東海上から日本付近に張り出すが、北日本では北海道の北東海上の高気圧にも覆われる。降水域は日本付近を広く覆うが、まとまった降水域は日本の南海上から北東にのびており、台風第 9 号に対応するものと考えられる。

週別（図略）では、1～2 週目は北海道の北東海上に高気圧の中心があって、東北地方は北から高気圧に覆われる。また、1 週目は台風第 9 号の北上が予想されており、今後の台風の動向には注意が必要である。3 週目以降は、太平洋高気圧が日本付近に張り出すが、北日本から東海上にはまとまった降水域があって、前線や低気圧の影響を受ける時期がある。

3. 北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると1週目は平年並。その後上昇して平年並～高めで推移する。ただし、メンバー間のばらつきが大きく信頼度は小さい。また、850hPa の気温に比べ地上気温が1 程度高めに経過する傾向が続いている。



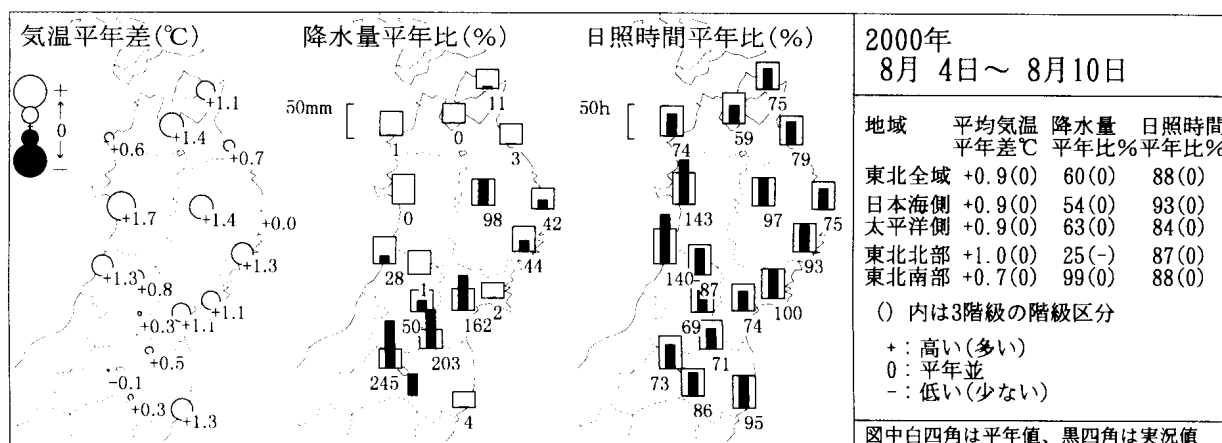
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4. 最近 1 週間（8 月 4 日～8 月 10 日）の天候の経過

東北地方は、引き続き太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かった。このため、8 月 4 日に「高温に関する東北地方気象情報第 2 号」を発表した。

また、この期間は上空に強い寒気が入っていた影響で大気の状態が非常に不安定だった。このため、各地で雷雨が多発し、短時間の大雨や降ひょう、落雷により JR の一時運休や農作物被害、停電等の被害が発生した。

平均気温は、東北地方で平年差+0.9 と平年並だった。降水量は、東三陸で平年比 25% と平年より少なく、東北南部で平年比 99%と平年並だった。日照時間は、東北地方で平年比 88%と平年並だった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）